

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

①第三者評価機関名

一般社団法人ば・まる

②施設・事業所情報

名称：キッズハーモニー・六甲アイランド	種別：保育所		
代表者氏名：施設長 平尾 美喜子	定員（利用人数）：30	名	
所在地：兵庫県神戸市東灘区向洋町中5-6-1			
TEL 078-851-9560	ホームページ：https://www.pasonafoster.co.jp/		
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：2016年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名）：株式会社パソナフォスター			
職員数	常勤職員：3	名	非常勤職員：8
専門職員	(専門職の名称)	名	
	保育士		
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等) 0歳児室、1歳児室	
		2歳児室、調理室、職員室、トイレ	

③理念・基本方針

当園では、『6つの理念』(尊敬・敬意、育む、信頼、変化への柔軟性、調和、維持)を基本に、安全で安心できる保育環境の中で「自主性を持った」「思いやりのある」子どもたちを育みます。そして子どもたちの自主性を引き出すために『子どもたち中心のカリキュラムの実践』を行います。

④施設・事業所の特徴的な取組

緑に囲まれ、陽あたりの良いキッズハーモニー・六甲アイランドは、毎日子ども達の笑顔があふれています。六甲アイランドには、いろいろな国の人が住んでいて外国人の子ども達も登園しているため、普段の生活の中で他の国の慣習や考え方に触れ合うことができます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年11月30日（契約日）～ 令和3年3月15日（評価結果確定日）
受審回数 (前回の受審時期)	0回（平成 年度）

⑥総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども個々を大切に保育 <p>地域特性から、多国籍の子どもが在籍しており、生活慣習を始め、様々な異同があることから、個々の子どもに丁寧にし、考え方を含め、家庭状況に応じた個別性を尊重しながら育てる保育の提供に努められています。子どもたちにとっても、お互いを受け入れ理解し、尊重する考え方が身につくよう配慮されており、養育環境を活用した育てで、協調性、自主性、他者尊重など、様々なスキルが自ずと身につく環境が形成されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多彩なコミュニケーション <p>外国人が3分の1を占めることから、日々のコミュニケーションにも配慮されており、英語を織り交ぜたり、図や絵の活用で、相互理解の促進とコミュニケーションの形成に繋がられています。</p>
<p>◇改善を求められる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の拡充 <p>地域では認知度の高い施設であり、存在も意識されていますが、コロナ禍の制限下において、地域と触れあう機会や、地域への機能還元といった分野が弱くなっています。コロナ禍でもできること、地域との日常的な関係性の構築拡充が望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報活用の拡充 <p>日常的に様々な情報が収集されていますが、収集に留まり、活用に繋がっていないケースが散見されました。支援の質の向上のためにも、収集した情報を眠らせず、日々の支援や、家族支援へと結びつけられる取り組みの拡充が望まれます。</p>

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

<p>保護者様との何気ない会話や連絡帳の中には保護者様が抱えている不安や相談事のサインが沢山隠れている。そのサインを見逃さず、保護者様から投げられたボールをその場だけで完結するのではなく、繰り返しお子様の様子を確認する姿勢が大切である。常に保護者様に寄り添っているという姿勢を大切に保護者様に安心と信頼を持って頂ける保育園を目指す。</p>
--

⑧各評価項目に係る第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<コメント> 法人としての保育理念、食育理念が掲げられており、法人の理念を踏まえた施設独自の理念も施設内のワークショップや研修で作上げられ掲げられています。外国語対応含め、保護者等へのわかりやすい説明の工夫が求められます。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<コメント> 地域ニーズの把握と地域事情の把握は行われています。数値管理は法人から示され、把握されています。地域の各種福祉計画を把握した上での、地域での事業展開が望まれます。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<コメント> 法人としての分析が行われています。分析結果や課題を踏まえた、施設独自の取り組み等の拡充が望まれます。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<コメント> 法人全体として、具体的な中長期計画が策定されています。法人の中長期計画に基づく施設の立ち位置や役割を明確にすることが望まれます。		
⑤	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<コメント> 法人全体として、具体的な事業計画が策定されています。法人の事業計画に基づく、施設独自の事業計画策定が望まれます。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		

6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<コメント> 施設長が、法人の事業計画推進に取り組まれています。職員の参画と理解の拡充が望まれます。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
<コメント> 事業計画は、ホームページ等で公表されています。保護者等に伝わりやすい工夫をされた説明の拡充が望まれます。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<コメント> 半期に一度、全ての職員を対象に、人事考課としての自己評価シート記載があり、面談が行われています。支援の質の向上に向けた意識課題となっています。法人からの施設担当者巡回が定期的に行われており、支援の内容について確認、評価されています。評価に基づく改善に繋げた仕組みの確立が望まれます。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<コメント> 定期的で開催される職員会議で、課題の共有が行われています。個人面談や職員会議等で出された課題を基に、改善に繋げる仕組みの確立が望まれます。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<コメント> 職員会議等でリーダーシップを発揮し、施設の運営について積極的に取り組まれています。広報誌等への掲載など、文書化の拡大が望まれます。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
<コメント> 法人の施設長会議等で、情報の共有や研修が行われています。リスト化の推進や、職員への周知拡充が望まれます。		

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
<コメント> テーマを設定した施設内研修を行い、テーマに沿った話し合いを持たれています。仕組みとしての確立が望まれます。		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<コメント> 法人より示されている数値を基に、施設内での運営に配慮されています。職員の働きやすい環境整備に努められています。職員にも同様の意思形成を共有し実行する体制の確立が望まれます。		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<コメント> 人材計画は法人全体としての管理が行われています。施設として、質の向上を目的に専門職の配置を行うなど、裁量範囲での取り組みがなされています。		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<コメント> 職員との個人面談があり、処遇の参考にされています。職員の意識向上に繋がる制度の拡充や周知が望まれます。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b
<コメント> 労務管理については、法人からのデータを基に、施設内で管理されています。働きやすい職場環境作りのために、ワークライフに配慮した勤務体制を心がけられています。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<コメント> 年2回行われる、職員との個別面談の中で、個人の目標設定について話し合われています。目標に対する評価見直しと、次期計画に繋げていくための仕組みの確立が望まれます。		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<コメント> どのような保育所にしていくのか、を職員間で話し合いが持たれています。目標・計画・研修等が一連で繋がる仕組みの確立が望まれます。		

19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<コメント> 階層別研修が行われています。法人として仕組みの拡充、法人で行う事、各施設で行う事、等の整理と体制の拡充が望まれます。		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
<コメント> 実習生に関する取り組みはありません。		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<コメント> 地域にチラシ等の配布が行われ、施設の取り組み等について広報されています。ホームページ等で掲載可能な情報の拡充が望まれます。		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<コメント> 会計規程に従い、施設長が処理し、毎月法人の点検を受けています。職員への周知と、施設内での職務分掌（権限・責任を含めた）の明確化がのぞまれます。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<コメント> 関連のある地域社会資源は、相互に情報共有が行われ、必要に応じた連携が持てるように努められています。リスト化の拡充等によって、職員や保護者への周知拡充が望まれます。		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c
<コメント> ボランティアに関する取り組みはありません。可能なところからの第一歩による、取り組みの拡充が望まれます。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<コメント> 必要に応じた職員間での話し合い等が行われています。リスト化の拡充等、職員間で共有出来る		

しくみづくりが望まれます。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	c
<コメント> 地域への支援活動は行われていません。可能なところからの第一歩による、取り組みの拡充が望まれます。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
<コメント> 地域への公益的活動は行われていません。可能なところからの第一歩による、取り組みの拡充が望まれます。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
<コメント> 理念基本方針や、職員向けの冊子「保育の心得」にて、子どもを尊重した保育の姿勢が明文化されています。 多国籍の子どもが在籍しているので、精査、人権、文化の違い等には特に留意し、お互いに尊重し受け入れる支援の提供が行われています。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b
<コメント> 子どもが多国籍にわたることから、お互いを尊重し、侵害しない支援の提供に努められています。文化の違い等での齟齬が発生しないよう、配慮されています。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<コメント> チラシの設置はありませんが、地域でのチラシ配布等が行われています。地域性もあり、園の情報は、地域の口コミや施設間での付き合いなどによって共有されており、地域にある施設の一つとして認識され始めています。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b
<コメント>		

<p>入園のしおりにて、重要な事が伝わりやすいよう、表や絵なども活用し、わかりやすい説明となるよう心がけられています。 多国籍の子どもの割合が増加している中、多国語への対応が求められます。</p>		
32	<p>Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	b
<p><コメント> 仕組みとしての引き継ぎ文書の整備が求められます。 利用終了後の相談体制等については口頭で伝えられています。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。</p>		
33	<p>Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	b
<p><コメント> 年二回の面談時に、要望や意見を聴取できるよう努められています。 仕組みとして、定期的に、利用者満足をあげていく取組の構築がのぞまれます。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	<p>Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	b
<p><コメント> 苦情解決の仕組みや第三者委員の設置があります。保護者に向けた、わかりやすい告知や説明、内容の公表等、仕組みの拡充が望まれます。</p>		
35	<p>Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	b
<p><コメント> 随時の相談等には、必要に応じ職員全体で共有すると共に、対応が行われます。 苦情と一体化した、意見や相談等への対応を、整理し、体系化することが望まれます。</p>		
36	<p>Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	b
<p><コメント> 発生した苦情相談意見については、職員一丸となって迅速に対応されています。苦情意見相談を一元化した、マニュアル・記録等の整備がのぞまれます。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	<p>Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	b
<p><コメント> 法人内でリスク事案の共有がなされています。類型化や原因の探求等を深めていくと、さらなる支援の質の向上に繋がるかと思われれます。</p>		
38	<p>Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	b
<p><コメント> コロナ禍において、家庭や家庭内の発熱管理等が適切に行われています。 日々の換気消毒等、環境面での整備にも留意されています。 感染症情報は、保護者等にも随時提供されています。</p>		

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に 行っている。	b
<コメント> 毎月の避難訓練では、地震や津波、不審者対策など、火災以外の災害に対する訓練も行われています。 備蓄食料2日分が準備されています。 安否確認に関する体制の拡充が望まれます。		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらに その対応方法については、全職員にも周知している。	b
<コメント> 様々な場面が想定されますので、マニュアルの拡充と職員への周知拡大が望まれます。		
41	Ⅲ-1-(5)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全 職員に周知している。	b
<コメント> 不審者対策の避難訓練等が行われています。様々な場面を想定したマニュアルの整備拡充等が望まれます。		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
42	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供 されている。	b
<コメント> 職員向け冊子「保育の心得」に標準的な実施方法が示されています。感染症等、時事で更新が必要なマニュアルは、別途用意されています。		
43	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立してい る。	b
<コメント> 基本マニュアルにあたる「保育の心得」は、法人として毎年検証され、必要に応じた改定が行われています。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
44	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
<コメント> 1子どもと保護者のニーズを踏まえた、計画策定を目指し、それらに沿ったアセスメント等の手法確立が望まれます。		
45	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<コメント> 保護者等のニーズを踏まえた、個別の年間計画に基づく個別支援計画の策定が望まれます。		

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
46	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
<コメント> 発達記録はとられていますが、計画に対する記録としての整理、仕組みの拡充が望まれます。		
47	Ⅲ-2-(3)-②子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<コメント> 職員に対し、毎年研修が行われています。改正施行された個人情報保護法に沿った、規程や記録の整備拡充が望まれます。		

評価対象A 実施する福祉サービスの内容

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	【非該当】
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	【非該当】
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	c
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	b
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b

特記事項

A①

保育指針と理念基本方針に沿った、全体的な計画が立案されています。全体的な計画に基づき作成される、各領域、各項目の、具体的な計画と、それらに基づいて作成される個別支援計画について、流れや関連性の整備拡充が望まれます。

A②

十分な保育スペースが確保され、また什器等によって空間分けを行うなど、子どもたちの過ごしに配慮された環境整備が行われています。

A③

子どもとのスキンシップが大切にされており、寄り添う保育、向き合う保育が行われています。子ども個々の発達や発育を把握し、職員間での共通理解を深めるように努められています。

A④

子ども個々の発達や発育に合致した支援の提供に努められています。職員会議で共有意識を持つことを心がけられており、それぞれの子どもに適した支援の提供に取り組まれています。

A⑤

園庭を活用した外遊びを日々設けており、ノビノビとした活動を提供されています。遊具や砂場遊びで、社会性、協調性が身につく保育の提供に努められています。地域と接する機会の拡充が望まれます。

A⑥

担当制によって、常に向き合える保育が提供出来るよう努められています。保護者との連携にも配慮し、安定した支援の提供が心がけられています。

A⑦

異年齢での保育が実践されており、子どもが自発的に活動できるよう保育者が入り、支援されています。

A⑨

配慮が必要な子どもに対する支援の重要性についての認識は、職員間で共有されており、研修等にも参加されています。障害を固定観念化することなく、課題のある子どもに対する個別支援の必要性について拡充することが望まれます。

A⑩

保護者との連絡ノート、職員間の申し送りシートで、子どもの状況について、保護者に適切に伝わるよう努められています。

A⑪

保育要録の基礎となる情報を、次の施設に繋ぐ記録の整備が望まれます。

A⑫

毎月、保護者に「ほけんだより」が配布され、全般的な情報から、季節や時事に併せた情報の提供が行われています。健康管理に関する情報の統一化を含めた整備の拡充が望まれます。

A⑬

健康管理に関する記録の整備が整っていません。仕組みの整理拡充が望まれます。

A⑭

アレルギーの確認は、提供する内容について、事前に保護者にも確認して頂く等、職員によるチェックと二重のチェックが行われています。

A⑮

施設内で、野菜を育て、収穫や観察を行う。また、野菜スタンプを作るなど、食材に接する機会が確保されています。食べ方の工夫で苦手なものの克服に努められています。

A⑯

季節や行事を考慮したメニューが採用されています。施設内調理ではないので、限界はありますが、施設としてできる工夫や取り組みの拡充が望まれます。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b

特記事項

<p>A⑰ 連絡帳によって、情報交換は行われています。それらを活用した支援の拡充や、保護者への理解を得るための情報提供の拡充が望まれます。</p> <p>A⑱ 送迎時には、できるだけ会話を持てるよう心がけられています。相談には、適切に対応できるよう努められています。受け身の相談に留まらず、会話や連絡帳の中から見受けられる、悩みや課題を見落とさず、能動的に対応できる体制の拡充が望まれます。</p> <p>A⑲ 該当する事例に遭遇したことはありませんが、予防的視点からの保護者へのアプローチ等、今後も発生しない為の取り組み拡充が望まれます。</p>
--

A-3 保育の質の向上

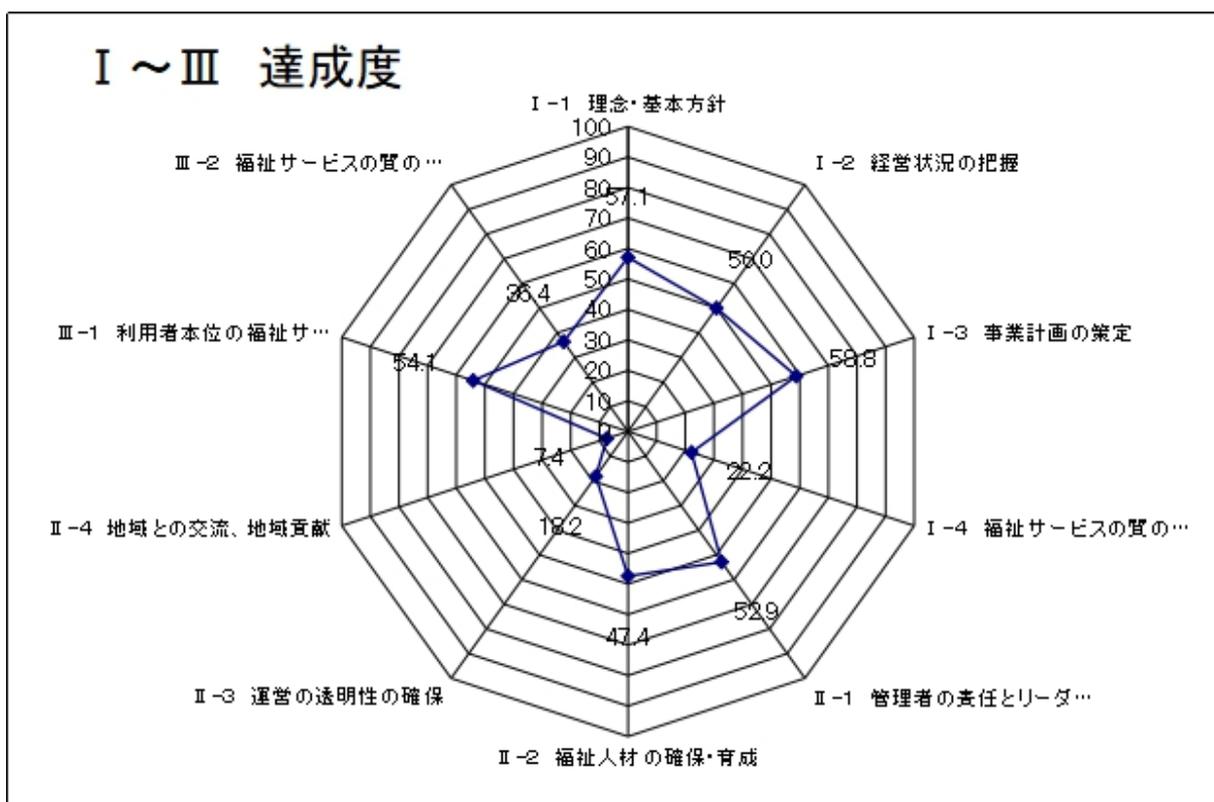
		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b

特記事項

<p>A⑳</p> <p>年2回、人事考課としての自己評価提出が行われ、面談が実施されています。自己評価を基にした、質の向上に繋がる取り組みの拡充が望まれます。</p>
--

I～III 達成度

	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
I-1 理念・基本方針	7	4	57.1
I-2 経営状況の把握	8	4	50.0
I-3 事業計画の策定	17	10	58.8
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	9	2	22.2
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	17	9	52.9
II-2 福祉人材の確保・育成	38	18	47.4
II-3 運営の透明性の確保	11	2	18.2
II-4 地域との交流、地域貢献	27	2	7.4
III-1 利用者本位の福祉サービス	74	40	54.1
III-2 福祉サービスの質の確保	33	12	36.4
合 計	241	103	42.7



A 達成度

	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
1-(1) 保育課程の編成	5	4	80.0
1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	55	50	90.9
1-(3) 健康管理	17	8	47.1
1-(4) 食事	15	9	60.0
2-(1) 家庭との緊密な関係	4	1	25.0
2-(2) 保護者等の支援	13	6	46.2
3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	6	4	66.7
合 計	115	82	71.3

総合計(I～Ⅲ+A)	356	185	52.0
------------	-----	-----	------

